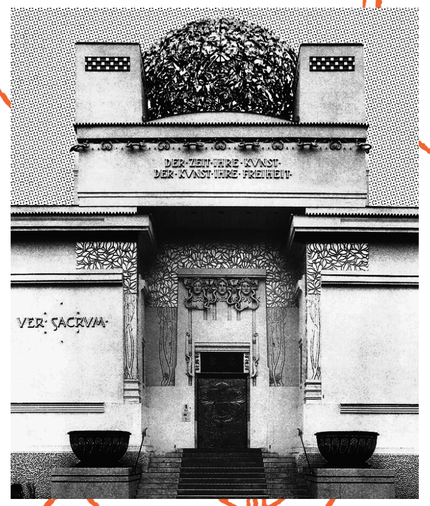


ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ「ウィーン分離派会館」1898年
Joseph Maria Olbrich <Exhibition Building of the Vienese Secession> 1898

I ウィーン分離派とクリムト
The Vienna Secession and Klimt

1. ウィーン分離派 ―展覧会と機関誌『ヴェル・サクルム』
The Vienna Secession – Exhibitions and Ver Sacrum

I – 1
グスタフ・クリムト
ウィーン分離派の蔵書票
1900年頃

I – 2
アドルフ・ベーム
第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 2
1898年

I – 3-1
コロマン・モーザー
第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 1
1898年

I – 3-2
コロマン・モーザー
第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 4
1898年

I – 3-3
コロマン・モーザー
第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 7
1898年

I – 4
菊川英山(挿画)
ポスター〈分離派 オーストリア造形芸術家協会 第6回美術展〉
1900年頃

I – 5
オーストリア造形芸術家協会(編)
『オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉年報第1号』
1899年

I – 6
オーストリア造形芸術家協会(編)／アドルフ・ベーム(装丁)
『第5回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1899年

I – 7
オーストリア造形芸術家協会(編)
『第6回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1900年

I – 8
オーストリア造形芸術家協会 (編)／ヨーゼフ・マリア・アウペンラー(表紙デザイン)
『第7回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1900年

I – 9
オーストリア造形芸術家協会(編)／コロマン・モーザー(装丁)
『第8回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1900年

I – 10
オーストリア造形芸術家協会(編)／ヨーゼフ・ホフマン(装丁)
『第10回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1901年

I – 11
オーストリア造形芸術家協会(編)
『第12回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1901年

I – 12
オーストリア造形芸術家協会(編)／コロマン・モーザー(装丁)
『第13回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1902年

I – 13
アルフレート・ローラー(表紙デザイン)
『ドイツの芸術と装飾』「第14回オーストリア造形芸術家協会〈ウィーン分離派〉展特集号」(第5年次第10号)
1902年7月

I - 14
オーストリア造形芸術家協会(編)／コロマン・モーザー(装丁)、レオポルト・シュトルバ(表紙デザイン)
『第15回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』
1902年

I – 15
オーストリア造形芸術家協会(編)／レオポルト・バウアー(装丁)
『第17回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展カタログ』
1903年

I - 16
オーストリア造形芸術家協会(編)／コロマン・モーザー(装丁)
『第18回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展：グスタフ・クリムト特集展カタログ』
1903年

I – 17
オーストリア造形芸術家協会(編)／アドルフ・ベーム(装丁)
『第20回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展カタログ』
1904年

I – 18
オーストリア造形芸術家協会(編)
『第31回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展：現代ロシア美術展カタログ』
1908年

I – 19
オーストリア造形芸術家協会(編)
『第99回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展：クリムト記念展カタログ』
1928年

I – 20
『第13回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展参加要項』
1902年

I – 21
ヘルマン・バール(著)／ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ(表紙デザイン・挿画)
『分離派』
1900年

I – 22
ルートヴィヒ・ヘヴェシ(著)／ヨーゼフ・ホフマン(装丁)
『分離派の8年間：批判、論争、年史』
1906年

I – 23
オーストリア造形芸術家協会(編)
『ヴェル・サクルム：オーストリア造形芸術家協会機関誌』[1900年～『ヴェル・サクルム：オーストリア造形芸術家協会報告書』]
1898–1903[1904]年

I – 24
コロマン・モーザー
バラのある少女の頭部
1898年頃

I – 25
マキシミリアン・レンツ
春
1898年

I – 26
マキシミリアン・レンツ
秋
1898年

I – 27
フリードリヒ・ケーニヒ
庭(春)
1898年

I – 28
フリードリヒ・ケーニヒ
錬金術師
1899年

I – 29
フリードリヒ・ケーニヒ
ミューズ礼賛
1901年

I – 30
ルドルフ・イェットマー
プロメテウス
[『ヴェル・サクルム』(第5年次、1902年、109頁)のためのオリジナル版画]
1900年頃

I – 31-1
ルドルフ・イェットマー
枯葉(秋)
[〈ヴェル・サクルム カレンダー 1902年〉10月絵のデザイン[『ヴェル・サクルム』 第5年次、1902年、23頁)]
1901年

I – 31-2
ルドルフ・イェットマー
秋の木葉
[〈ヴェル・サクルム カレンダー 1902年〉10月絵のデザイン[『ヴェル・サクルム』 第5年次、1902年、23頁)]
1901年

I – 32
フェルディナント・アンドリ
〈ヴェル・サクルム・カレンダー〉のためのデザイン案
1901年

I – 33
フェルディナント・アンドリ
刈入れ時
[〈ヴェル・サクルム・カレンダー〉のためのデザイン案]
1901年

I – 34
フェルディナント・アンドリ
バター造りの農婦
1901年頃

I – 35
マルクス・ペーマー
ファウストとワーグナー
[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、36頁)のための挿画]
1902年

I – 36
コロマン・モーザー
11月
[『ヴェル・サクルム』(第5年次、1902年、267頁)のためのオリジナル版画]
1902年

I – 37
カール・モル
雪に埋もれたデプリンクの別荘(ホーエ・ヴァルテ)
[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、275頁)のためのオリジナル版画]
1903年

I – 38
カール・モル
ホーエ・ヴァルテの住宅(コロマン・モーザー邸)
[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、271頁)のためのオリジナル版画]
1903年頃

I – 39
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
蓋
1903年頃

I – 40
ミレーヴァ・ローラー
女の隊列
1904年頃

I – 41
マキシミリアン・クルツヴァイル
自画像
1901年頃

I – 42
フェルディナント・アンドリ
グスタフ・クリムト像
1905年頃

I – 43
フェルディナント・アンドリ
自画像
1908年頃

I – 44
コロマン・モーザー
コロマン・モーザーとエディタ(ディタ)・マウトナー＝マルクホフの結婚通知カード
1905年

I – 45
コロマン・モーザー
1907年3月28日付ヘルマン・バール宛書簡
1907年

I – 46
エミール・オルリーク
ヘルマン・バールの肖像
1909年

I – 47
エゴン・シーレ
アルトゥール・レスラーの肖像
1914年

I – 48
a) 作者不詳
ベルトルト・レフラーのポートレート、自作ポスターの前で
1910 年頃
b) ルートヴィヒ・ヒュファープ
ベルトルト・レフラーのポートレート
1939年頃

I – 49-1
フェルディナント・アンドリ
宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン (1)
1905年頃

I – 49-2
フェルディナント・アンドリ
宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン (2)
1905年頃

I – 49-3
フェルディナント・アンドリ
宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン (3)
1905年頃

I – 50
フェルディナント・アンドリ
雲を背にする二人の女
1905年頃

I – 51-1
フェルディナント・アンドリ
天使と二人の人物(1)
1905年頃

I – 51-2
フェルディナント・アンドリ
天使と二人の人物(2)
1905年頃

I – 52
フェルディナント・アンドリ
聖者のいる装飾的風景
1905年頃

I – 53
フェルディナント・アンドリ周辺作家
壁画のためのデザイン
1912年頃

I – 54
フリードリヒ・ケーニヒ
ヴィトゲンシュタイン邸の絵画連作《シェークスピア『真夏の夢』》のための習作
1906年頃

2. クリムト、シーレ そしてココシュカ
Klimt, Schiele and Kokoschka

I – 55
グスタフ・クリムト
右向きの浮遊する男性裸像
[ウィーン大学大広間天井画《哲学》のための習作]
1897–99年

I – 56
グスタフ・クリムト
左を向いた半身立像
[ウィーン大学大広間天井画《医学》のための習作;ソーニャ・クニプス旧蔵クリムト・スケッチブックの一枚]
[1901–07年]

I – 57
グスタフ・クリムト
前向きの頭部および2つの手の習作
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「真実の女神」のための習作]
[1903年頃]

I – 58
グスタフ・クリムト
宣誓のポーズの2つの手、前腕を持ち上げた人物像右側部分、ならびに4つの足の習作
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」および「エリーニュス(復讐の女神たち)」のための習作]
[1903年頃]

I – 59
グスタフ・クリムト
宣誓のポーズの3つの手の習作
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作]
[1903年頃]

I – 60
グスタフ・クリムト
古代ローマ人の長衣をまとった女性像(1)
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作]
[1903–07年]

I – 61
グスタフ・クリムト
古代ローマ人の長衣をまとった女性像(2)
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作]
[1903–07年]

I – 62
グスタフ・クリムト
古代ローマ人の長衣をまとった女性像(3)
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作]
[1903–07年]

I – 63
グスタフ・クリムト
板を支える手ならびに下向きの手の習作
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「法則の女神」および「エリーニュス(復讐の女神たち)」のための習作]
[1903年頃]

I – 64
グスタフ・クリムト
左を向いて長い法服をまとった男の半身像
[ウィーン大学大広間天井画《法学》の法学者のための習作]
[1903年頃]

I – 65
グスタフ・クリムト
抱擁する二人の女性
[〈水蛇I〉(1904–07年)のための習作)]
[1904年頃]

I – 66
グスタフ・クリムト
横たわる裸婦
[ルキアノス著『ルキアノスの遊女(ヘタイラ)の対話』(1907 年刊)のための習作]
1904年頃

I – 67
ルキアノス(著)／フランツ・ブライ(訳)／グスタフ・クリムト(画)／グスタフ・クリムト、ヨーゼフ・ホフマン(表紙デザイン)／ウィーン工房(装丁)
『ルキアノスの遊女(ヘタイラ)の対話』
1907年

I – 68
ヘルマン・バール(著)
『クリムト論』
1901年

I – 69
フェリックス・ザルテン(著)／ベルトルト・レフラー(表紙デザイン・装丁)
『グスタフ・クリムト、時評』
1903年

I – 70
ポール・ヴェルレーヌ(著)/グスタフ・クリムト(画)
『女たち』
[1905年頃]

I – 71
ヘルマン・バール、ペーター・アルテンベルク(序)
『グスタフ・クリムト作品集』
1918年

I – 72
グスタフ・ネーベハイ(著)
『グスタフ・クリムトの素描』
1918年

I – 73
H·Th・ワイデンフェルト(編)／ティェルク・ボッテマ(表紙デザイン)／マックス・アイスラー(文)
『ヴェンディンゲン：グスタフ・クリムト特集号』(第3年次2号)
1920年

I – 74
マックス・アイスラー(著)／ヨーゼフ・ホフマン(カバーデザイン)
『グスタフ・クリムト』
1921年

I – 75
クンストシャウ・ウィーン(編)
『クンストシャウ・ウィーン臨時カタログ 1908年』
1908年

I – 76
エゴン・シーレ
少年像
1912年

I – 77
アルベルト・パリス・フォン・ギュータースロー(著)
『エゴン・シーレ』
[1911年]

I – 78
『第9回ノイエ・クンスト／ハンス・ゴルツ特集展：エゴン・シーレ(ウィーン)』
1913年

I - 79
『エゴン・シーレの素描』
1917年

I - 80
オスカー・ココシュカ
表面：かがみ込んだ裸婦、裏面：前傾姿勢の裸婦
1906年頃

II 新しいデザインの探求
The Quest for New Design

1. 図案集の隆盛
The Heyday of Design Sample Books

II – 1
コロマン・モーザー(表紙デザイン)
『ゲルラハ&シェンク芸術家の家(ウィーン)で展示されたオリジナル・スケッチ、油彩画、水彩画、版画ならびにモデル作品』
1896年(第2版・改訂版)

II – 2
マルティン・ゲルラハ(編)／カール・オットー・チェシュカ、ハインリヒ・レフラー、コロマン・モーザー、グスタフ・クリムト、ベルトルト・レフラーほか(画)
『アレゴリー、新シリーズ、著名現代芸術家によるオリジナルデザイン』
1900年頃

II – 3
ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
『オルブリヒ アイデア集』
1900年

II – 4
カール・オットー・チェシュカ／マルティン・ゲルラハ(著)
『ビネット形式のアイデア大全』[『ディ・クヴェレ(泉)』第1巻]
[1902年]

II – 5
カール・オットーチャシュカ
ワイン[カール・オットー・チェシュカ／マルティン・ゲルラハ『ビネット形式のアイデア大全』(『ディ・クヴェレ(泉)』第 1 巻)のためのデザイン案]
1901年頃

II – 6
マックス・ペニルシュケ(著・画)
『書籍装丁と平面模様』[『ディ・クヴェレ(泉)』第2巻]
1902年

II – 7-1～7-19
マックス・ペニルシュケ
『書籍装丁と平面模様』(『ディ・クヴェレ(泉)』第2巻)のためのデザイン案

II – 7-1
ビネット「二羽の鳥、鷲と鸚鵡」
1900年頃

II – 7-2
ビネット「兎」
1901年頃

II – 7-3
ビネット「鳥」(1)
1901年頃

II – 7-4
花の装飾
1901年頃

II – 7-5
ベリー
1900–01年

II – 7-6
ビネット「花」
1901年頃

II – 7-7
ビネット「葉」
1901年頃

II – 7-8
ビネット「花弁」
1901年頃

II – 7-9
ビネット「茎」
1901年頃

II – 7-10
ビネット「莢」
1901年頃

II – 7-11
マックス・ペニルシュケ
インディアンの頭部
1901年頃

II – 7-12
ビネット「木立」
1901年

II – 7-13
ビネット「女の横顔」
1901年

II – 7-14
ビネット「女の頭部」
1901年

II – 7-15
ビネット「魚」
1901年

II – 7-16
ビネット「少女の頭部」
1901年頃

II – 7-17
ビネット「鳥」(2)
1901年頃

II – 7-18
ビネット「髪がかかった女の頭部」
1901年頃

II – 7-19
女の頭部のある花
1901年頃

II – 8
コロマン・モーザー(著・画)
『平面装飾』[『ディ・クヴェレ(泉)』第3巻]
[1902年]

II – 9
マルティン・ゲルラハ(編)／フーゴ・ヒンテルベルガー(顕微鏡写真)
『自然領域のフォルム世界』[『ディ・クヴェレ(泉)』第5巻]
[1902–04年]

II – 10
フェリツィアン・フォン・ミルバハ、ヨーゼフ・ホフマン、コロマン・モーザー、アルフレート・ローラー(編)
『ディ・フレッヒェ(平面)― 装飾画、ポスター、書籍そして印刷物装丁のデザイン集 第1巻』
[1903/04年]

II – 11
ベルトルト・レフラー(編)
『ディ・フレッヒェ(平面)― 装飾デザイン集(新シリーズ) 第II巻』
1910/11年

II – 12
フランツ・チジェク、ヘルマン・カストナー(編)
『自由デッサン：フランツ・チジェク主宰専門コースの基礎である自然物および日用品のデッサン授業法』
1925年

2. デザイン研究のプラットフォーム ―ウィーン工芸学校とウィーン工房を中心に
A Platform for Design Innovation – The Vienna School of Applied Arts and Wiener Werkstätte

II – 13
ウィーン工芸学校生(画・装丁)
『白に黒：ウィーンの作家たち、1902年2月6日ウィーン工芸学校学生祭に寄せて』
1902年

II – 14
[ヨーゼフ・アウグスト・ルクス(著)]
『若きウィーン ウィーン工芸学校作品集』
[1907年]

II – 15
レオポルト・フォルストナー
招待状〈ウィーン工芸学校生主催仮装パーティー、1902年2月6日〉
1902年頃

II - 16
ウィーン工芸学校(編)
『〈輪舞〉―歌曲のタベのためのプログラム』
1908年頃

II - 17
チャールズ・ホーム(編)
『オーストリアにおける芸術再生』[『ザ・ステューディオ』1906年夏季特別号]
1906年

II – 18
ウィーン工房／カール・オットー・チェシュカ(デザイン)
「復興祭の贈物展」招待状
1905年頃

II – 19
ウィーン工房
第1回「食卓展」オープニング招待状
1905年頃

II – 20
フランツ・カール・デラヴィラ
ウィーン工房主催舞踏のタベ(1906年1月24日)への招待状
1906年

II – 21-1
コロマン・モーザー
踊り子 [ウィーン工房金工作品エンボスのためのデザイン]
1904年頃

II – 21-2
コロマン・モーザー
腕を上にあげた少女 立像[ウィーン工房金工作品エンボスのためのデザイン]
1904年頃

II – 22-1
オスカー・ココシュカ
花園[ウィーン工房絵葉書 No. 64]
1906–08年

II – 22-2
オスカー・ココシュカ
山羊で羊といる少女[ウィーン工房絵葉書 No. 79]
1906–08年

II – 22-3
オスカー・ココシュカ
窓辺の少女[ウィーン工房絵葉書 No. 152]
1906–08年

II – 23
オーストリア＝ハンガリー帝立王立宮廷国家印刷所(編)／ルドルフ・フォン・ラリッシュ(タイポグラフィー)／コロマン・モーザー(装丁)／カール・オットー・チェシュカ(画)
『オーストリア＝ハンガリー帝立王立宮廷国家印刷所1804-1904年：創設100周年を記念して』
1904年

II – 24
ウィーン工房(装丁)
『オーストリア＝ハンガリー帝立王立郵便貯金局設立25周年記念論集』
1908年

II – 25
ウルバン・ヤンケ
ウィーン風景
1906年頃

II – 26
ピエール・ジャネ(著)／フランツ・フォン・バイロス(画)／ウィーン工房(表紙デザイン)
「16番目の結婚の喜び：15の結婚の喜びに対する風刺―翻訳と原文」
1909年

II - 27
ウィーン工房 [マックス・メル(編)／ヨーゼフ・ホフマン(装丁)]
『ウィーン工房年鑑』
1911年

II – 28
作者不詳
あるウィーン工房作家の手帳
1903年頃

II – 29
ウィーン工房(編)／マティルデ・フレークル、マリア・リカルツ、ダゴベルト・ペヒェ、フェリツェ・リックス、エドゥアルト・ヴィマー＝ヴィスグリルほか(画)
『ウィーン・ファッション 1914/15』(1・4・5号)
1914/15年

参考出品／Reference work
フェリツェ・リックス(フェリーツェ・"リチ"・上野＝リックス)
絵本
1915年頃

II – 30
ヨーゼフ・ウルバン
装飾的な絵縞
1897年頃

II – 31
ゼルギウス・フルビィ
夜会用バックのデザイン
1897年頃

II – 32
ゼルギウス・フルビィ
婦人帽用飾りピンのデザイン
1898年頃

II – 33
ヨーゼフ・エンゲルハルト
衝立(障め)デザイン案
1898年頃

II – 34
コロマン・モーザー
バラのある少女像
1898年頃

II – 35
エルヴィン・プッヒンガー
ビネット「日没」
1898年頃

II – 36
エルヴィン・プッヒンガー
ビネット「二人の少女の頭部」
1901年頃

II – 37
エルヴィン・プッヒンガー
少女の頭部がある縁飾り
1900年頃

II – 38-1
アドルフ・ベーム
雪山(「ゴールデン・ホテル案内パンフレット」デザイン案)(1)
1900年頃

II – 38-2
アドルフ・ベーム
飾り罫(「ゴールデン・ホテル案内パンフレット」デザイン案)(2)
1900年頃

II – 39
ヘルト・レフラー
雑誌「受難のアウグスティン」タイトル装飾のためのデザイン案
1903年頃

II – 40
ベルトルト・レフラー
死神将軍(装丁デザイン案)
1903年頃

II – 41-1
コロマン・モーザー
マーブル紙(亀)
1903年頃

II – 41-2
コロマン・モーザー
マーブル紙(青白い山根魚)
1903年頃

II – 41-3
コロマン・モーザー
マーブル紙(山根魚、紡錘形)
1903年頃

I – 41-4
コロマン・モーザー
マーブル紙(斑点のある山根魚)
1903年頃

II – 41-5
コロマン・モーザー
マーブル紙(山根魚、球形)
1903年頃

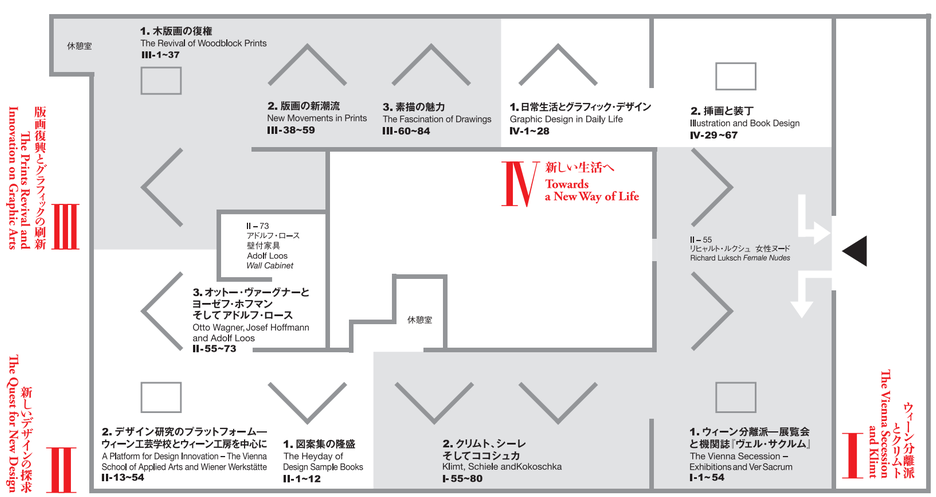
II – 41-6
コロマン・モーザー
マーブル紙(山根魚、浮袋のあるドラゴン形)
1903年頃

II – 41-7
コロマン・モーザー
マーブル紙(自然装飾模様)
1905年頃

II – 42
ミレーヴァ・ローラー
鏡を覗き込むニンフ
1904年頃

京都国立近代美術館所蔵
# 世紀末ウィーンのグラフィックデザイン そして 生活の刷新にむけて
2019年1月12日(土)～2月24日(日)
京都国立近代美術館
主催 京都国立近代美術館 読売新聞社
January 12 (Sat.) - February 24 (Sun.), 2019
The National Museum of Modern Art, Kyoto
Organized by The National Museum of Modern Art, Kyoto, and The Yomiuri Shimbun

MoMAK Collection
Graphics in Vienna around 1900
New Design for a New Way of Life



3F

世紀末ウィーンのグラフィック
―デザイン そして生活の刷新に向けて
Graphics in Vienna around 1900
― New Design for a New Way of Life

●作品データは、「図録番号」「作家名」「作品名」「制作年」「発行者・地」「技法・材質／形状」「所蔵先」「所蔵品番号」の順に記載されています。ただし、所蔵者の明記がないものは、すべて京都国立近代美術館の所蔵です。
●図録番号は会場での展示順序とは必ずしも一致していません。
●やむを得ない事情により、展示作品が一部変更となる場合があります。

II – 43
レオポルト・フォルストナー
モザイク・デザイン案（サロメ）
1908年頃

II – 44
パウル・レス
鳥のいる葉装飾模様
1907年頃

II – 45
ヴェンツェル・オズヴァルト
鳥のいる縁飾り
1908年頃

II – 46
カミラ・ビルケ
百合の飾り
1916年頃

II – 47
ヨーゼフ・ホフマン周辺作家
ダイナミックな装飾
1910年頃

II – 48
エリザベート・クーディシュ＝ツーバ
十字架墓標
1920年頃

II – 49
マリー・フォン・ウヒャティウス
猿
1903年

II – 50
マリー・フォン・ウヒャティウス
月の女神
1904年頃

II – 51
マリー・フォン・ウヒャティウス
装飾デザイン（鷲）
1905年

II – 52
マリー・フォン・ウヒャティウス
跳びはねる鹿
1905年頃

II – 53
マリー・フォン・ウヒャティウス
ステンドグラスのデザイン
1905年頃

II – 54
マリー・フォン・ウヒャティウス
布地模様デザイン
1906年頃

II – 55
リヒャルト・ルクシュ
女性ヌード
1905年頃
武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵

3. オットー・ヴァーグナーとヨーゼフ・ホフマンそしてアドルフ・ロース
Otto Wagner, Josef Hoffmann and Adolf Loos

II – 56
ゴットリーブ・テオドール・ケンプフ＝ハルテンカンプ
オットー・ヴァーグナー像
1900年

II – 57
オットー・ヴァーグナー
『ニーダーエステライヒ州立精神施療院附属教会（シュタインホフ教会）建設完成解説書』
1907年

II – 58
オットー・ヴァーグナー
『スケッチ・プロジェクト・完成建築作品集』
1910年

II – 59
パウル・ロラー（編）／ジークフリート・シュラム（写真）／カール・ベニルシュケ（装丁）
『ヴァーグナー・シューレ 01』
1901年

II – 60
『ヴァーグナー・シューレ 1902-03年および1903-04年：上級建築監督官オットー・ヴァーグナーの建築流派によるプロジェクト、習作ならびにスケッチ』
1905年

II – 61
『ヴァーグナー・シューレ 1905-07』
1907年頃

II – 62
オットー・シェーンタール（編）
『ウィーン造形芸術アカデミーにおけるオットー・ヴァーグナー顕彰年―学生・プロジェクト・習作・素描作品集』
1912年

II – 63
ヨーゼフ・アウグスト・ルクス（著）／マックス・ベニルシュケ（装丁）
『近代住宅とその内装：近代の建築家たちとその流派による作品と下図の写真とカラー図版入』
［1905年］

II – 64
（ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ）
絵葉書（ダルムシュタット芸術家コロニー、オルブリヒ教授邸）
1906年

II – 65
ヨーゼフ・ホフマン
ブロンシア・コラー＝ピネルのための家具デザイン案（a. 衣装箱、b. カウチ・テーブル、c. サイド・テーブル、d. サイド・テーブルほか、e. ナイト・テーブル、f. 肘掛け椅子）
1908-13年

II – 66
ヨーゼフ・ホフマン
ブロンシア・コラー＝ピネルのアトリエ・ハウス設計案
1908-10年

II – 67
オーストリア工作連盟（編）
『ヨーゼフ・ホフマン、1930年12月15日60歳の誕生日に寄せて』（雑誌「女性年鑑」特別号）
1930年

II – 68
エミール・ホッペ
ランタンのためのデザイン
1910年頃

II – 69
エミール・ホッペ
淡青色の傘がついた卓上ランプのデザイン
1910年頃

II – 70
エミール・ホッペ
黄色の傘がついた卓上ランプのデザイン
1910年頃

II – 71
フランツ・シュヴァルツ
モニュメントのためのデザイン（フューガー賞のために）
1912年頃

II – 72
アドルフ・ロース
『ダス・アンテレ：西欧文化紹介誌』
1903年

II – 73-1
アドルフ・ロース
壁付家具
1904年頃
以下、II-73-9まで武蔵野美術大学所蔵

II – 73-2
アドルフ・ロース
壁付家具
1904年頃

II – 73-3
アドルフ・ロース
飾り棚
1904年頃

II – 73-4
アドルフ・ロース
アームチェア（1）
1904年頃

II – 73-5
アドルフ・ロース
アームチェア（2）
1904年頃

II – 73-6
アドルフ・ロース
エクステンションテーブル
1904年頃

II – 73-7
アドルフ・ロース
フラワーテーブル
1904年頃

II – 73-8
アドルフ・ロース
ネストテーブル
1904年頃

II – 73-9
アドルフ・ロース
間仕切りプランター
1904年頃

III 版画復興とグラフィックの刷新
The Prints Revival and Innovation on Graphic Arts

1. 木版画の復権
The Revival of Woodblock Prints

III – 1
エミール・オルリーク
「日きブラハ
1897［1902］年

III – 2
マキシミリアン・クルツヴァイル
シェーンブルンのあずまや
1903年頃

III – 3-1
マキシミリアン・クルツヴァイル
クッション（寝椅子に座るマルタ・クルツヴァイル）
1903年

III – 3-2
マキシミリアン・クルツヴァイル
クッション
1903年

III – 4
ノラ・エクスナー・フォン・ツムブッシュ
蘭
1903年頃

III – 5
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
男の頭部（自画像）
1905年頃

III – 6
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
屋根裏の幽霊
1906年頃

III – 7
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
木（「クンストシャウ1908年」ポートフォリオのために）
1906年頃

III – 8
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
葦の中のボート
1906年頃

III – 9
カール・モル
ハイリゲンシュタットの聖ミヒャエル教会
1903年

III – 10
カール・モル
冬（ウィーンのホーエ・ヴァルテ）
1903年

III – 11
カール・モル（版画）／ヨーゼフ・ホフマン、ウィーン工房（装丁）
版画集「ベートーヴェンの家」
1908年

III – 12
ヘーデ・ヤーン
リーヒテンシュタイン城（モラヴィア地方シュテルンベルク）
1913年

III – 13
ミレーヴァ・ロラー
風の女神
1904年頃

III – 14
ミレーヴァ・ロラー
恋人たち
1904年頃

III – 15
マリー・フォン・ウヒャティウス
印刷機
1903年頃

III – 16
マリー・フォン・ウヒャティウス
老人の頭部
1905年頃

III – 17
マリー・フォン・ウヒャティウス
兎
1905年頃

III – 18-1
マリー・フォン・ウヒャティウス
大天使
1905年頃

III – 18-2
マリー・フォン・ウヒャティウス
大天使
1905年頃

III – 19
カール・クレネク
森の中の少女
1906年

III – 20
カール・クレネク
四季
1906年

III – 21
ブロンシア・コラー＝ピネル
木版画（岩山風景）のための下絵
1904年頃

III – 22
ブロンシア・コラー＝ピネル
岩山風景
1904年頃

III – 23
ブロンシア・コラー＝ピネル
悲しみ
1908年頃

III – 24
ルドルフ・カルヴァハ
トリエステ港
1907-08年

III – 25
ルドルフ・カルヴァハ
トリエステ港の荷積みするボート
1908年頃

III – 26-1
ルドルフ・カルヴァハ
港の船（1）
1908年頃

III – 26-2
ルドルフ・カルヴァハ
港の船（2）
1908年頃

III – 27
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
シェーンブルンのあずまや
1911年

III – 28-1
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
豹（連作「シェーンブルンの動物たち」より）
1909年

III – 28-2
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
禿鷲（連作「シェーンブルンの動物たち」より）
1909年

III – 28-3
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
ライオンの頭部（連作「シェーンブルンの動物たち」より）
1909年

III – 28-4
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
フラミンゴ（連作「シェーンブルンの動物たち」より）
1909年

III – 28-5
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
三羽の青い鸚鵡（連作「シェーンブルンの動物たち」より）
1909年

III – 29
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
豹の小さい頭
1912年頃

III – 30
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
七羽の鸚鵡
1914年頃

III – 31
ベルトルト・レフラー
ボールで遊ぶ童子
1910年頃

III – 32
ベルトルト・レフラー
パンフルートを吹くピエロ
1910年頃

III – 33
ベルトルト・レフラー
マーキュリー
1910年頃

III – 34
フランツ・フォン・ツューロウ
畑野の荷馬車
1905年頃

III – 35
フランツ・フォン・ツューロウ
豚飼い
1908年頃

III – 36
フランツ・フォン・ツューロウ
庭の垣根
1911年頃

III – 37
フランツ・フォン・ツューロウ
畑野
1912年頃

2. 版画の新潮流
New Movements in Prints

III – 38
オスカー・ラスケ
無名者の墓地
1904年頃

III – 39
フランツ・フォン・バイロス
ボンボニエール
1907年

III – 40
レオポルト・シュトルバ
木のある風景
1905年頃

III – 41
レオポルト・シュトルバ
砂丘風景
1905年頃

III – 42
エルンスト・シュテール
古代夜景（花瓶をもつ婦人）
1906年頃

III – 43
エルンスト・シュテール
山の湖
1906年頃

III – 44
エルンスト・シュテール
湖
1906年頃

III – 45
ルイーズ・ボッセ
白服の婦人
1904年頃

III – 46
ルイーズ・ボッセ
リュージュ乗り
1904年頃

III – 47
ルイーズ・ボッセ
庭
1906年頃

III – 48
ヴィルヘルム・リスト
五月の太陽
1902年頃

III – 49
フェルディナント・アンドリ
農夫と農婦
1900年

III – 50
フェルディナント・アンドリ
野良仕事
1906年

III – 51
フェルディナント・アンドリ
座る農婦
1906年

III – 52
オットー・フリードリヒ
新聞
1904年頃

III – 53
オットー・フリードリヒ
デモンストレーション
1908年頃

III – 54
オットー・フリードリヒ
恋人たち
1905年頃

III – 55
オットー・フリードリヒ
最後の審判の日
1908年頃

III – 56
ミルバハ周辺
アンティークな頭部
1905年頃

III – 57
レオポルト・シュトルバ
木の下の少女
1906年

III – 58
カール・クレネク
森の農家
1908年頃

III – 59
ベルトルト・レフラー
童子
1910年頃

3. 素描の魅力
The Fascination of Drawings

III – 60
ヴィルヘルム・ベルナツィク
夜の気配（油彩画（ノインキルヒェン近郊シュタインフェルト、薄暮）草稿）
1898年頃

III – 61
ルドルフ・イェットマー
一日の四つの刻
1898年頃

III – 62
ハインリヒ・レフラー
オランダの紡ぎ女たち
1900年頃

III – 63
フェルディナント・アンドリ
雲のある風景
1901年頃

III – 64
フェルディナント・アンドリ
白樺のある山の風景
1910年頃

III – 65
フリードリヒ・ケーニヒ
勝利の女神
1899年頃

III – 66
フリードリヒ・ケーニヒ
跪く赤いローブの女性
1905年頃

III – 67
ミレーヴァ・ロラー
ケープをまとう女
1904-05年

III – 68
ミレーヴァ・ロラー
女神と跪く少女
1904年頃

III – 69
ミレーヴァ・ロラー
パラス・アテナ
1904年頃

III – 70
ミレーヴァ・ロラー
四人の女
1904年

III – 71
エーリヒ・マッリーナ
天使
1905年頃

III – 72
エーリヒ・マッリーナ
母子のいる風景
1910年頃

III – 73
フランツ・ツェレツニー
人物デッサン（a. シュペッサー、b. 画家マイアーホファー、c. ライズィンガー教授）
1906-07年（a. 1906年5月13日、b. 1907年4月12日）

III – 74
レオポルト・ブラウエンシュタイナー
木のある農場
1906年頃

III – 75
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
花畑
1906年頃

II – 76
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
チータ
1912年頃

III – 77
ルードヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
山猫
1912年頃

III – 78
ヨーゼフ・ディヴェーキー
葡萄売り
1906年頃

III – 79
ハンス・ベーラー
立つ少女
1908年頃

III – 80
カール・シュルダ
ロングドレスの婦人立像
1908年頃

III – 81
カール・シュルダ
裸の少女
1908年頃

III – 82
カール・シュルダ
恋人たち
1908年頃

III – 83
エドゥアルト・ステラ
分離派風ライフスタイル
1908年頃

III – 84
エアハルト・アマデウス・ディール
リュート奏者
1913年

IV 新しい生活へ
Towards a New Way of Life

1. 日常生活とグラフィック・デザイン
Graphic Design in Daily Life

IV – 1
ヨーゼフ・アウグスト・ルクス（編）
『ホーエ・ヴァルテ：芸術的教養と都市文化の育成のための隔週誌』
1904-08年

IV – 2
ペーター・アルテンベルク（編）
『クンスト（芸術）：芸術とそのほか全てのための月刊誌』
1903/1904年

IV – 3
カール・F・コチマータ（編）
『フェア！ペーター・アルテンベルク：あらゆるものにおける近代的精神の表現』
1917/1918年

IV – 4
アルフレート・ロラー
ポスター〈ウィーン近郊雪山鉄道〉
1897年

IV – 5
コロマン・モーザー
ポスター〈オーストリア挿画新聞〉
1900年

IV – 6
ベルトルト・レフラー
ポスター（シューベルトブントの謝肉祭／世界は改善されねばならない）
1903年頃

IV – 7
テオドール・ツァシェ
ポスター（第6回国際自動車展ウィーン 1906年）
1906年

IV – 8
デラヴィラ周辺
ポスター・デザイン案（カフェ・アルハンブラ）
1910年頃

IV – 9
リヒャルト・ハルルフィンガー
ポスター（造形芸術家経済連盟「美術」展覧会）
1916年頃

IV – 10
リヒャルト・ノイトラ
ポスター〈ウィーンの孤立と苦難〉
1918年頃

IV – 11
オトカル・マッシャ
『オーストリアのポスター芸術』
［1915年］

IV – 12
レオポルト・フォルストナー
案内状（L.W.アベルスの講話、アルノート画廊於）
1900年頃

IV – 13
ベルトルト・レフラー（表紙デザイン）
プログラム「謝肉祭のおとぎの魔法、シューベルトブント主催仮面舞踏会」
1901年

IV – 14
エディタ（ディタ）・モーザー
トランプカード
1905年

IV – 15
カール・オットー・チェシュカ（装丁）／カール・オットー・チェシュカ、ベルトルト・レフラー、フリッツ・ツァイマー、オスカー・ココシュカ（第1号：表紙・挿画）／モーリツ・ユンク（第2号：表紙・挿画）
『キャバレー〈フレーダーマウス〉上演本』第1号および第 2 号
1907年

IV – 16
ルドルフ・イェットマー
フリッツ・ヴェルンドルファーの蔵書票
1903年頃

IV – 17
コロマン・モーザー
フリッツ・ヴェルンドルファーの蔵書票
1903年

IV – 18
オスカー・ココシュカ
エマ・バッヒャーの蔵書票
1909年頃

IV – 19
ハインリヒ・レフラー、ヨーゼフ・ウルバン（挿画）
『オーストリア月次絵』
1900年

IV – 20
コロマン・モーザー
月次絵
1899年頃

IV – 21
カール・オットー・チェシュカ
1904年版カレンダー
1903年

IV – 22
ハインリヒ・レフラー
シンデレラ（宮廷舞踏会）
1903年頃

IV – 23
ベルトルト・レフラー
十二月（カレンダーのためのデザイン案）
1906年頃

IV – 24
ルドルフ・ユンク
1908年版カレンダー
1907年

IV – 25
エディタ（ディタ）・モーザー
1908年度版カレンダー
1907年

『ウィーン分離派会員集合写真、第14回分離派展に際して』1902年
〈Members of the Vienna Secession, at the XIV. Exhibition〉 1902

IV – 26
エディタ（ディタ）・モーザー
1910年度版カレンダー
1909年

IV – 27
エディタ（ディタ）・モーザー
1913年度版カレンダー
1912年

IV – 28
フランツ・フォン・ツューロウ
月刊帳（1914年7月版、1915年3月版）
1914/15年

2. 挿画と装丁
Illustration and Book Design

IV – 29
ハンス・フラウングルーバー（編）／ベルトルト・レフラー（装丁・挿画）
『少年の魔法の角笛』（『ゲルラハ青少年叢書 第4巻』）
1902年

IV – 30-1〜30-7
ベルトルト・レフラー
『少年の魔法の角笛』（『ゲルラハ青少年叢書 第4巻』のための挿画）
1903年頃

IV – 30-1
肩掛けを羽織る老女
1903年頃

IV – 30-2
ドラゴン
1903年頃

IV – 30-3
犬を連れた男
1903年頃

IV – 30-4
愚か者ども (1)
1903年頃

IV – 30-5
愚か者ども (2)
1903年頃

IV – 30-6
傘を持つ小人
1903年頃

IV – 30-7
小妖魔
1903年頃

IV - 31
アウグスト・コビッシュ（著）／フェルディナント・アンドリ（挿画）
『精選詩集』（『ゲルラハ青少年叢書第13巻』）
［1904年］

IV – 32-1〜32-6
フェルディナント・アンドリ
アウグスト・コビッシュ『精選詩集』『ゲルラハ青少年叢書 第13巻』のための挿画
1903年頃

IV – 32-1
ライ麦おばさん
1903年頃

IV – 32-2
騎兵の装飾模様
1903年頃

IV – 32-3
眠れる小妖魔（詩「小さな帽子」のための挿画）
1903年頃

IV – 32-4
ドアの中の男
1903年頃

IV – 32-5
小妖魔
1903年頃

IV – 32-6
佇む小妖魔
1903年頃

IV – 33-1
フーゴ・シュタイナー＝プラーク
錦の兵隊（ニコラウス・レーナウ「精選詩集」「ゲルラハ青少年叢書 第10巻」のための挿画）
1905年

IV – 33-2
フーゴ・シュタイナー＝プラーク
湯気のたつ薬罐がのったテーブル（ニコラウス・レーナウ「精選詩集」「ゲルラハ青少年叢書 第10巻」のための挿画）
1905年

MoMAK Collection
Vienna around 1900 Graphics in
New Design for a New Way of Life

IV – 34
フランツ・カール・デラヴィラ
『悲しい一小節』
1906年

IV – 35
フランツ・カイム（著）／カール・オットー・チェシュカ（挿画）
『ニーベルンゲン』（『ゲルラハ青少年叢書 第22巻』）
1908年頃

IV – 36
ベルトルト・レフラー
『白雪姫と七人のこびと』挿画のためのこびと習作
1908-11年頃

IV – 37
ベルトルト・レフラー
『白雪姫と七人のこびと』に関する草稿
1911年頃

IV – 38
ハインリヒ・レフラー（表紙デザイン）
『モデル中央組合総合カタログ』
1895年

IV – 39
ウィーン造形芸術家組合（編）／アルフレート・ロラー（表紙デザイン）
『リュブリャナのために：1895年春に発生した大地震で被災したライバハおよびその周辺地域の住民のために』
1895年

IV – 40
ウィーン・サイクリング・クラブ、〈キュンストラーハウス〉（編）／カール・ラビス、カール・サイドル（文）／ラファエル・キルヒナー（装丁）／ラファエル・キルヒナー、ハインリヒ・レフラーほか（挿画）
『サイクリング』
［1897年］

IV – 41
フェリシー・エーヴァルト（編）／コロマン・モーザー（装丁・挿画）
『青春の宝物：ドイツ詩集』
1897年

IV – 42
ゲオルク・シュタインハウゼン（著）／コロマン・モーザー（装丁）
『昔のドイツ商人』（『ドイツ文化史叢書』第2巻）
1899年

IV – 43
コルネリウス・グルリット（著）／コロマン・モーザー（装丁）
『19世紀のドイツ美術』
1899年

IV – 44
ウィーン市舞踏会委員会（編）／コロマン・モーザー（装丁）
『ウィーン市舞踏会』
1901年2月9日

IV – 45
フランツ・セルヴァース（著）／コロマン・モーザー（装丁）
『ジョヴァンニ・セガンティーニ：人生と作品』
1902年

IV – 46
ルートヴィヒ・ヘヴェシ（著）／コロマン・モーザー（装丁）
『19世紀のオーストリア美術』
1903年

IV – 47
ユリウス・ビトナー、コロマン・モーザー（著）／コロマン・モーザー（挿画）
『山の湖、コロマン・モーザーによる舞台美術デザインと解説』
1911年

IV – 48
ハンス・ベトゲ（著）／ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ（装丁・挿画）
『青春の祝祭：詩集』
1901年

IV – 49
カール・ベッヒャー、エーノホ・ハインリヒ・キッシュ（編）／ベルトルト・レフラー（装丁）
『第74回ドイツ自然科学者・医師会議記念論文集、カールスバート、1902年』
1902年

IV – 50
ウィーン市議会（編）／ハインリヒ・レフラー、ヨーゼフ・ウルバン（装丁・挿画）
『ウィーン市シラー記念集』
1905年

IV – 51
W. ラブラー（選）／ハインリヒ・レフラー、ヨーゼフ・ウルバン（挿画）
『クリンク・クランク・グローリア：ドイツの民謡と童謡』
［1907年頃］

IV – 52
ヘッダ・ザウアー（著）／リヒャルト・テシュナー（表紙デザイン・挿画）
『詩集―赤き薔薇に雪降りしとき』
1904年

IV – 53
リヒャルト・テシュナー（装丁）
『アンナホーフ：文と画―A・ハーゼ家（プラハ）のモノグラフィー』
1908年

IV – 54
ウィーン市舞踏会委員会（編）／レミギウス・ガイリンク（挿画）
『1909年ウィーン市舞踏会、1809年の開催日を記念して』
1909年

IV – 55
ジョン・ウィルモット・ロチェスター（著）／ユリウス・クリンガー（挿画）
『ソドム：ある遊戯』
1909年

IV – 56
作者不詳
『花嫁の花冠』
1909年

IV – 57
『コーコルディア舞踏会』
1912年2月12日

IV – 58
クレメンス・フレンターノ（著）／カール・シュルダ（挿画）
『勇敢なカスペルルと美しきアンネルルの物語』
［1920年］

IV – 59
コロマン・モーザー
『アルベルティーナほか所蔵 昔の巨匠のデッサン集』（第 4 巻）の表紙のためのデザイン
1898年頃

IV – 60
フランツ・ヴァツィーク
丸い鏡を持つ二人の悪魔
1903年頃

IV – 61
フランツ・ヴァツィーク
ミュンヒハウゼン男爵
1904年頃

IV – 62
ベルトルト・レフラー
カップル
1903年頃

IV – 63
ベルトルト・レフラー
修道士（ヴィーナー出版のためのデザイン案）
1903年

IV – 64
アントン・ノーヴァク
風景（『リルケ詩集』のためのデザイン案）
1903年頃

IV – 65
カール・オットー・チェシュカ
雪の白とバラの紅（童話のための挿画）
1905年頃

IV – 66
カール・オットー・チェシュカ
童話のための挿絵
1905年頃

IV – 67
カール・オットー・チェシュカ
三人の騎士
1905年頃